

第6期障がい福祉計画に係る令和4年度実績要因分析結果

○県地活事業 (令和4年度実績でC,D評価となったもの)
＜必須事業＞

事業名	進んでいない要因	県の対応
手話通訳者・要約筆記養成研修	受講者数は確保できたものの、全国試験の合格が登録要件となっており、結果的に登録者が伸び悩んだ。	引き続き研修開催の周知に努めるほか、研修内容についても検討していく。
精神障害者地域生活支援広域調整事業(地域生活支援広域調整会議等事業)	新型コロナウイルス感染症予防のため、委託先の各圏域で協議会の開催が延期・中止となったことによるもの。	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、従来通りの事業実施を目指しつつ、Webで開催する等で協議の場が確保できるよう働きかける。
障害支援区分認定調査員研修	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、出席者を絞って実施したもの。	引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、開催報法や開催時期、募集期間等、研修対象者に配慮した開催に努める。
市町村審査会委員研修	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、出席者を絞って実施したが、想定より出席者が集まらなかったもの。	引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、開催報法や開催時期、募集期間等、研修対象者に配慮した開催に努める。
相談支援従事者初任者研修	・相談支援事業所は、処遇改善加算の対象となっていないため、相談支援事業所単体での採算が合わないという意見がある等、研修受講の動機づけが図られにくい面があること。 ・新カリキュラムの研修時間が旧カリキュラムよりも2日間増加したことにより、受講生へ負担増となった。	・計画相談事業所が安定した運営を行うことができるよう、適切な報酬単価などが設定されるよう、国に対して報酬改正を要望していく。
相談支援従事主任者現任者研修	・新型コロナウイルス感染症の影響により、研修会が中止されたもの(青森県での開催予定)	・東北6県で持ち回り開催される研修であり、感染状況を踏まえながら、対応を検討していく。
サービス管理責任者等基礎研修	・新型コロナウイルス感染症の影響等により、想定よりも受講希望者が少なかったもの。	・感染状況を踏まえながら、開催時期及び方法を検討していく。
サービス管理責任者等実践研修	・新型コロナウイルス感染症の影響等により、想定よりも受講希望者が少なかったもの。	・感染状況を踏まえながら、開催時期及び方法を検討していく。

＜任意事業＞

事業名	進んでいない要因	県の対応
オスメイト社会適応訓練事業	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に配慮して実施したことから、感染状況により開催できなかった時期があったことによるもの。	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、従来通りの事業実施を目指す。
音声機能障がい者発声訓練指導者養成事業	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和4年度の事業を中止としたことによるもの。	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、従来通りの事業実施を目指す。
音声機能障がい者発声訓練事業	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に配慮して実施したことから、感染状況により開催できなかった時期があったことによるもの。	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、従来通りの事業実施を目指す。
字幕入り映像ライブラリー事業	計画に対して、映像本数の実績が下回ったもの。	委託内容は、映像の総時間数を基にしており、作品内容について精査していく。
身体障がい者パソコンボランティア養成・派遣事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、養成研修の受講者及び派遣実績がともに目標を下回ったもの。	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、従来通りの事業実施を目指す。